

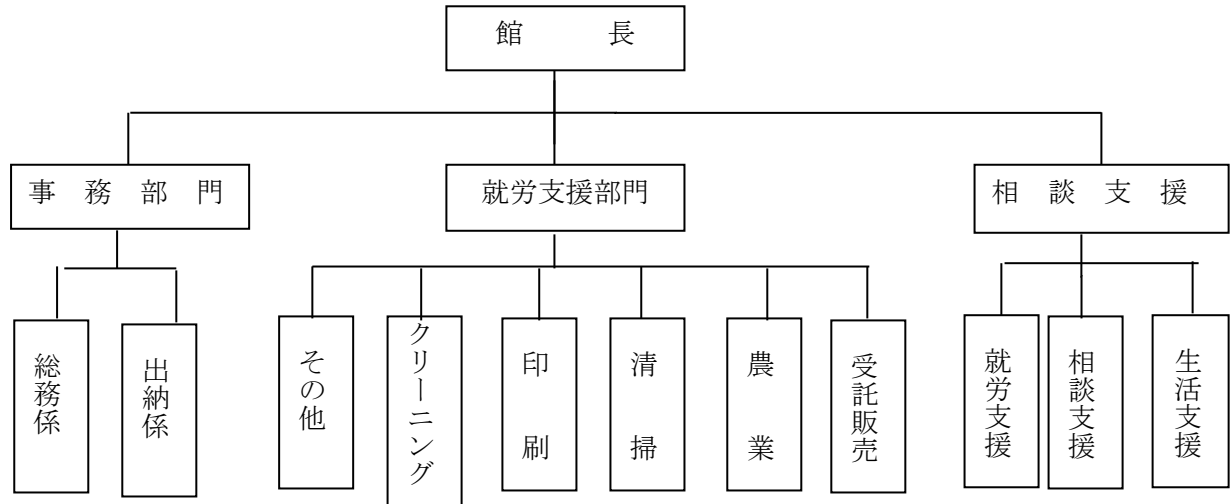
令和5年度 青松館事業報告

《施設の概要》

- ・ 名称及び所在地： 「青 松 館」
〒029-2206 岩手県陸前高田市米崎町字地竹沢245番地3
TEL 0192(53)1135 / FAX 0192(55)7008
- ・ 設置の種別： 指定就労継続支援B型事業
- ・ 施設の概要：
設置規模：敷地面積 1,165 m² 床面積 460.36 m² (鉄筋コンクリート造平屋建)
施設内容：作業室1・2・3 多目的ホール兼食堂 事務室 相談室 医務室
倉庫1・2 男女更衣室 男女トイレ 身障用トイレ 洗面所
定 員： 40名
- ・ 目 的：
青松館が行う指定就労継続支援B型事業の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った、適切かつ円滑な指定就労継続支援B型の提供を確保することを目的とする。
- ・ 運営の方針：
 - 1 利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者に対して就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。
 - 2 事業の実施に当たっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービス機関と連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。
 - 3 前2項の他、関係法令等を遵守し、事業を実施するものとする。
- ・ 沿 革：

平成10年	7月	1日	社会福祉法人大洋会・身体障害者通所授産施設「青松館」開所 部品組立事業とクリーニング事業開始
平成14年	6月	1日	カット印刷事業開始
平成18年	6月	1日	軍手製造販売・BDF生成販売開始
平成18年	10月	1日	指定就労継続支援B型事業に移行
平成20年	10月	1日	青松館せせらぎ(分場)開所
平成21年	4月	1日	就労継続支援B型事業定員30名から40名に増員
令和2年	4月	1日	青松館せせらぎ(分場)閉所

《組織図及び職員名簿》



	職名	氏名		職名	氏名
1	館長(サービス管理責任)	菅野好子	6	職業指導員	金野祐菜
2	職業指導員(係長)	大和田雄介	7	職業指導員	金野正一
3	生活支援員	梶原真由美	8	職業指導員	大和田愛子
4	目標工賃達成指導員	馬場敏次	9	職業指導員	岩淵希
5	職業指導員	寺坂寿樹	10	職業指導員(非常勤)	原定

1・行事報告

(1) 行事

月	日	行事名	場所
4	22	お花見会	気仙沼・大島
5	5	ニュースポーツ交流会	福祉の里センター
6	3	岩手県障がい者スポーツ大会	盛岡市ビックハウス
7	1	ボーリング大会	さくらボウル
	8	バスハイク	釜石イオン
8	30	きょうされん全国大会～8/31	埼玉県
9	9	ぶどう狩り	紫波フルーツパーク
10	23	利用者健康診断(～計4日間)	広田診療所
	28	ニュースポーツ交流会	福祉の里センター
12	2	気仙沼買い物ツアー	気仙沼イオン
	23	年末大掃除・忘年会	大船渡温泉
1	5	青松会初詣	矢作町天照大御神社他
	27	さいとう製菓工場見学	さいとう製菓工場
2	1	いちご狩り(～計4日間)	せせらぎ
3	2	椿館見学・買い物	椿館・キャッセン
	30	ニュースポーツ交流会・青松会総会・慰労会	夢アリーナ・青松館

(2) 諸会議・施設内研修

月	日	研修内容	講師
7	1	「成年後見制度～制度の理解と利用に向けて」	そらうみ法律事務所陸前高田事務所 弁護士 富谷耕作氏
		「成年後見さぼーとセンターについて」	陸前高田市社会福祉協議会 松本崇史氏
8	24	発達障がい理解と対応について	発達障がい沿岸センター 佐藤由紀氏
1	27	障がい者虐待防止・権利擁護研修 ～改正障がい者差別解消法と身体拘束適正化を中心として～	岩手県社会福祉士会 高橋 勝氏

*毎月実施：職員会議・支援会議・工賃会議

(3) 研修受講状況

月	日	研修内容	参加者	開催場所
5	1 9	精神保健福祉基礎研修	1名	WEB
6	2 3	令和5年度気仙薬剤師会研修	1名	大船渡市
	29～30	令和5年度リスクマネージャー養成研修会(上級編)	1名	東京
	28～12	令和5年度障がい者相談支援従事者初任者研修	1名	WEB
7	2 7	甲種防火管理新規研修	1名	遠野市
	22～23	令和5年度障がいのある人を支援する防災研修会	1名	WEB
8	24～25	「SNSを活用した広告戦略」研修	1名	紫波郡
9	1 8	障がい者の働く場パワーアップフォーラム	1名	WEB
	2 0	障がい者の働く場パワーアップフォーラム	1名	WEB
	27～28	社会福祉従事者リーダー研修会	1名	滝沢市
	2 2	令和5年度リスクマネジメント研修(実践編)	1名	WEB
	2 7	発達障がい基礎研修	3名	WEB
	2 8	虐待防止研修(従事者による虐待の防止と研修)	1名	WEB
10	6	感染予防研修会	1名	WEB
	1 8	令和5年度OJT研修～職場で取り組む人材育成～	1名	WEB
	2 2	クリーニング師研修	1名	一関市
	2 7	令和5年度岩手県サービス管理責任者等基礎研修	1名	盛岡
11	6～7	社会福祉法人経営実務検定試験 会計2級対策講座	1名	盛岡
	2 5	自閉症療育セミナー	1名	北上
	2 7	令和5年度社会福祉法人マネジメントスキル講座集合研修	1名	東京
	28～29	Access基礎講習	1名	紫波郡
12	7	令和5年度障がい者虐待防止研修	1名	盛岡市
	16～17	就労支援フォーラム NIPPON2023	1名	東京
1	1 9	サービス管理責任者更新研修	1名	盛岡市
2	21～22	令和5年度全国社会就労センター長研修	1名	東京

*その他、きょうされん・圏域就労部会 WEB 会議・研修を所内にて受講

2. 実習生・研修生の受入状況

実習期間	実習者	人数
9月25日～10月6日	気仙光陵支援学校高等部2年生	1名

3. 利用者の状況（令和6年3月31日現在）

（1）市町村別

区分	陸前高田市	住田町	大船渡市	合計
合計	30名	3名	2名	35名

（2）年齢別

区分	19～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	平均年齢
合計	4名	6名	5名	4名	11名	5名	54.6歳

（3）障がい別

区分	身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	身体・知的重複障がい
合計	8名	12名	10名	3名	2名
構成比	24%	33%	30%	8%	5%

（4）月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ	679	718	677	662	707	673	702	666	682	638	572	639	8015
実利用者	37	37	37	37	36	37	37	37	38	36	36	36	441
開所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	22	269
平均	30.8	31.2	30.7	28.7	30.7	30.5	30.5	30.2	29.6	27.7	27.2	27.4	29.7

（5）日課表

月～金曜日			
9:00～	朝礼・ミーティング・作業開始	14:30～14:45	休憩
10:15～10:30	休憩	14:45～15:30	作業
10:30～12:00	作業	15:30～15:45	整理・整頓・清掃
12:00～13:00	昼食・休憩	15:45	終礼
13:00～14:30	作業		

4. 利用者の支援状況

（1）健康管理

実施日：令和5年10月23・24・30日 11月2日

実施場所：陸前高田市広田診療所

総合判定	異常なし	要精密検査	要治療	合計
人数(名)	4	28	2	32

健診結果は、個人へ検査結果を配布するとともに、結果を踏まえて医療機関の受診勧奨を行っている。歯科健診は、被災地支援で来所いただいていた白根先生（埼玉県在住）の訪問診療が行われた。インフルエンザワクチン接種は、希望者のみ希望ヶ丘病院にて11月9・10・16・17日に実施。

新型コロナウイルス感染症予防対策では、毎日朝の検温の他、健康観察表による健康チェックを継続している。また、感染対策に関する文書をご本人やご家族宛に配布し、室内の換気・マスクの着用・手洗い消毒等、感染予防対策にご協力をいただいた。

(2) 就労支援事業の概況

① 概況

新型コロナ感染症が5類に移行し、清掃部門では、市営住宅の消毒作業がなくなったことから減収となったが、その他の部門は、若干の増減はあるものの前年度並みを維持している。利用者の高齢化と障がいの重度化による作業量や質の低下といった課題は依然残るものの、清掃部門において、新たにスノーピークの清掃を始めており、今年並みの工賃が支給できるようにしていきたい。

② クリーニング部門

・売り上げは、前年度より、約32万円の増収となる。要因は、年度初めに松原苑私物洗濯の単価値上げと宿泊施設の受注回復、スノーピークの新規受注が始まった事と思われる。松原苑私物単価については種類により10円～50円値上げしている。新規受注のスノーピークについては9月から作業開始となり、66,227円の収入となる。コロナ感染の影響も大きくなかった1年であったが、令和3年度の気仙沼市の精神科病院からの受注時までの収入回復には至っていない。次年度は新規宿泊施設の受注や単価の見直しを行い、コロナ禍前の収入額を目指していきたい。

③ 印刷業務

・取引先は、前年度と変わらず気仙管内が主で、商品ラベルシール、看板（横断幕、懸垂幕、幟旗、車両カット文字）製作、Tシャツ（ポロシャツ）プリントチラシやポスター印刷、冊子（要覧、タクシー助成券）を受注・製作作業の受注をしている。当年度は、新型コロナウイルスが5類に緩和されたことを受け、少しずつではあるが大型施設を利用した集会等が催され、大型看板の受注は回復傾向にあり、前年同等の500万円超の売上を計上出来ている。

④ ・資材価格の値上がりの他、これまで指名で受注できていた商品も、同業他社との見積合わせも発生しつつある状況であり、コスト削減をより一層強化するとともに値上げの必要がある。従事している利用者が実質1名であり、職員も他作業部門との掛け持ちとなり、作業配置やバランスなど配慮して生産性の維持と品質の向上に努めていかなければならない。クライアント様のニーズに応えるべく、多種多様な創造性と印刷データ作成のスキルアップの向上が課題となっている。

⑤ 清掃部門

(希望ヶ丘病院)

・「せせらぎ」との共同受注作業を継続し、当所から1日3～4名の利用者に職員2名が同行し作

業に従事している。通年でできる作業であり、収入も一定しており、祝日にも包布交換作業がある。

(陸前高田市保健センター)

・火・金曜日の週2回、午前の作業を継続して行っている。利用者2名・職員1名で対応している。次年度も変更なく継続予定。

(沼田トイレ)

・市役所より委託を受け週1回、夏季期間(7・8月)は週2回の合計65回の作業と受託している。

(スノーピーク)

・9月より新規受託にてキャンプ場の宿泊棟・サニタリー棟の清掃作業を行っている。キャンプ場の利用者状況により作業日数は不定期となっており、今年度の収入は約70万円となっている。

⑤ 受託部門

・希望ヶ丘病院へのオムツ販売は伸び悩んでいる状況は前年度から継続している。今後も大幅な増収の見込みはなく、現状を維持しつつ仕入れ価格の値上げにも対応をしていきたい。

・缶詰のラベル貼り作業は、取引先の業績に左右されるものの、通年で受注が切れることなく受注ができ、前年度より微増ではあるが170万円超の収入となっている。

・陸前高田市ふるさと納税の梱包発送作業では、今年度は通年で作業させていただき、事故報告もなく200万円を超える売上であった。

・農福連携による市内民間農場での農作業では、農繁期限定の施設外作業となるが、天候や農場の都合に左右される部分大きく、安定した売り上げは見込めないが、声を掛けて頂けた時には他作業とのバランスをみて対応していく。

・椿の葉拭き作業は手が空いた際に誰もがができる作業として提供できている。売上は期待できないものの、作業の谷間時間を有効利用できる軽作業としての位置づけとして提供していく。

引き続き、更なる販路拡大に向け職員が課題を共有し、既存事業への問題意識を持ちながら情報収集し新規作業の開拓に努めたい。

⑥ 就労支援事業収入(生産)額表

(単位:円)

年度	総収入額	部門別収入額			
		クリーニング	印刷部門	清掃部門	受託販売
令和3年	40,600,338	24,253,121	4,827,480	8,843,281	2,676,456
令和4年	41,986,057	23,162,224	5,797,547	7,353,050	5,673,236
令和5年	39,723,583	23,484,655	5,436,341	4,317,170	6,485,417
当年度構成比		59.1%	13.7%	10.9%	16.3%

令和5年度工賃支給総額は、16,398,900円。工賃平均支給額46,168円を支給。

5. 防災状況

(1) 自衛消防隊

隊長	係	任	務	係長	係員
	通報連絡係	消防署、関係機関への通報連絡		生活支援員B	職業指導員E
	消火係	初期消火活動		職業指導員C	職業指導員A
	避難誘導係	館生の避難誘導		生活支援員A	職業指導員B

館 長	警 備 係	逃げ遅れ者の確認、救助、延焼防止	職業指導員 A	防火管理者
	救 護 係	負傷者の救護	職業指導員 F	職業指導員 D

(2) 訓練実施状況

実施日時	令和 5 年 5 月 26 日(金) 午前 10 時 00 分	訓練種別	避難訓練
訓練想定	火災発生、事務室より出火。	避難場所	第 2 避難所
<p>10 時 00 分事務室より出火想定。第一発見者が火災発生を知らせ、初期消火対応した。避難誘導係は利用者を第二避難所（青松館裏側駐車場）に誘導し、警備係は逃げ遅れ者の有無の確認と延焼防止に務める。今回通報訓練は行わなかったため、通報係は利用者の避難誘導を行った。避難完了後、避難誘導係長より点呼報告を行い、自衛消防隊長に終了報告を行い訓練終了となった。火災発生より避難終了報告までの所要時間 3 分 2 4 秒。</p>			

実施日時	令和 5 年 11 月 22 日(木) 午後 11 時 30 分	訓練種別	避難訓練
訓練想定	地震発生、大津波警報発令。	避難場所	第 3 避難所
<p>11 時 30 分、岩手県三陸沖を震源とする非常に大きな地震が発生。職員は大きな声で地震発生を知らせ、落下物・障害物に注意し利用者の安全確保にあたる。1 分後揺れが収まり、大津波警報が発令、30 分後に津波到達を想定し避難にあたる。警備係は逃げ遅れの確認と施設内の施錠を行い、初期消火係はボイラー等の停止、火元の点検をし、同時に避難誘導係を中心に利用者を速やかに公用車（リフト付きバス、ハイエース他）に誘導、在館している車両に順次乗車の補助を行う。並行して車両ごとに人数の確認作業を行い、第三避難所の松原苑へ出発。松原苑到着後、グループ毎に整列し点呼をとり、自衛消防隊長に終了報告を行う。</p>			

実施日時	令和 6 年 2 月 23 日(金) 午後 11 時 45 分	訓練種別	通報・避難訓練
訓練想定	火災発生、ボイラー室より出火。	避難場所	第 1 避難所
<p>11 時 45 分ボイラー室より出火想定。第一発見者が火災発生を知らせ、消火係が初期消火対応した。避難誘導係は利用者を第一避難所（シルバーセンター側駐車場）に誘導し、警備係は逃げ遅れ者の有無の確認と延焼防止に務める。携帯電話を使って通報訓練を実施。避難完了後、避難誘導係長が点呼報告を行い、自衛消防隊長に終了報告を行い訓練終了となった。火災発生より避難終了報告までの所要時間 2 分 24 秒。</p>			

(3) 各室火気戸締り等責任者

令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月

箇 所	責 任 者	箇 所	責 任 者
第 1 作業室	職業指導員 A	玄 関	職業指導員 B
第 2 作業室	生活支援員 A	内 倉 庫	出 納 係
第 3 作業室	職業指導員 B	男子更衣室	防 火 管 理 者
事 務 室	職業指導員 A	女子更衣室	生活支援員 B
相 談 室	出 納 係	男子トイレ	職業指導員 C
医 務 室	生活支援員 A	女子トイレ	生活支援員 B
厨 房	職業指導員 D	障害者トイレ	職業指導員 D

多目的ホール	生活支援員 B	外倉庫・施設周辺	職業指導員 C
--------	---------	----------	---------

6. 苦情受付 0件

7. まとめ

利用契約者は、定員40名に対し3月末時点で35名。年度内では、契約終了者は4名で、新規の利用契約者は1名となっている。

重点事項としていた、感染症・非常災害時での業務可能な体制の整備については、それぞれ業務継続計画を策定しており、6年度より本格運用を開始する。権利擁護については、身体拘束等の適正化のための指針を策定、虐待防止委員会を設置し、安全で安心できる支援が提供できる体制を整えることができた。

就労支援事業においては、清掃部門での市営住宅の消毒作業が終了したこともあり、全体として減収となったが、収益性の高い受託部門の増収により、平均工賃額は46,168円となった。